

映画と連動したイベントに関する全国アンケート・ヒアリング調査及びその研究 ～地域発信型映画と連動した地域イベントに関する研究～

○谷國大輔（株式会社バリーオ）

キーワード：リージョナルシネマ、地域イベント、ロケ撮影、映画祭、ロケ地観光

1. はじめに

最近、地域が主体性をもって企画・制作・配給・興行に参画する”地域発信型映画”が数多く制作されるようになってきており、”地域にこだわりのある映画（リージョナルシネマ）”が増えている。そういった地域の変化を捉え、2008年9月のイベント学会10周年記念大会において、「地域発信型映画と連動した地域イベントに関する研究～（その1）地域発信型映画と関連性のある地域イベントの事例調査～」というテーマで研究発表を行った。同大会では、地域発信型映画の制作現場において、その企画開発・ロケ撮影・映画上映会などが、地域イベントそのものになっている事例が多く見られることを、各種資料や映画関係者へのヒアリング等によって明らかにし、映画と連動して様々な地域イベントが各地で開催されていることを示した。

その後も引き続き、「地域発信型映画と連動した地域イベントに関する研究」を進めているが、現在は、「映画と連動したイベントに関する全国アンケート・ヒアリング調査」を実施している。なお、その調査方法と内容は下記の通りである。

2. 調査方法

全国のフィルムコミッションに「映画と連動したイベントに関するアンケート調査」を行う。また、フィルムコミッションの担当者やイベント関係者等に「電話によるヒアリング」を行い、必要に応じて「現地ヒアリング」も実施する。

これらの調査により、イベントの現場により密着した研究を進めることで、「映画と連動したイベント」の実態を明らかにする。

3. アンケートの内容

本調査におけるアンケートの内容は下記の通りである。

1) 映画と地域の関係性に関すること

下記に該当する作品数・作品名・その具体的な展開について調査する。

- (1) 映画の舞台とロケ地が一致している作品、一致していない作品
- (2) 地域の出来事・歴史・自然・生活・産業・料理等が映画の題材になっている作品
- (3) スタッフやキャスト等が地域とゆかりのある作品
- (4) 地元の団体・行政・企業・市民・マスコミ等から出資・協賛等がある作品
- (5) 企画開発において地域からの参加・提案等があった作品
- (6) 地域住民がキャストやエキストラとして出演している作品
- (7) ロケ撮影において地域からの多大な支援がなければ映画の成立が難しかった作品
- (8) 映画のシーンに地元企業が商品などを映し出し、PRや宣伝などを行った作品（プロ

ダクトプレイスメントのあった作品)

- (9) 映画のロケセットや映画を記念したモニュメント等が地域に設置された作品
- (10) 地域での先行上映や公民館等での上映会等があった作品
- (11) 地域でDVD販売、関連グッズ販売、ロケ地における観光キャンペーン、ロケ地ツアー、地元メディア（CATV等）による放映等があった作品

2) 映画と連動したイベントに関すること

下記にあげる映画制作の各段階において、どのようなイベントが開催されているのか、その作品名と具体的な展開について調査する。

(1) 企画開発段階

シナリオコンテスト、企画のワークショップ、スタッフとの交流、キャストとの交流、地元でのオーディション、製作発表会、その他

(2) 制作段階

イベント開催とかわらないようなロケ支援、エキストラ参加、現在も行われている地元のイベントや祭りを開催、映画をきっかけに新たにイベントや祭りを創造、今は開催していないイベントや祭りを再現、スタッフとの交流、キャストとの交流、その他

(3) 上映段階

試写会、先行上映会、地元で映画祭を開催、海外映画祭への参加、映画PRのイベント・キャンペーン、映画のグッズ販売セール、映画に関する展示会、映画やロケの写真展、その他

(4) 上映後の段階

ロケセットでのイベント開催、映画をきっかけにイベントや祭りが復活、映画がきっかけに新たにイベントや祭りを創造、モニュメントの設置、ロケ地ツアー、ロケ地の観光キャンペーン、映画のグッズ販売セール、映画に関する展示会、映画やロケの写真展、その他

4. おわりに

このように現在、全国のフィルムコミッション等を対象に、「映画と連動したイベントに関するアンケート・ヒアリング調査」を行っている。本大会での発表はその中間報告となる。本調査研究の結果は、2009年5月末に報告書としてまとめることになっている。